

# 2020年度 チーム人数減少対策アンケート調査結果報告

2021年3月6日  
連盟競技部

## 1. 目的

各チーム人数の増減状況の実態調査を行い、チーム人数減少の対策につなげる。

## 2. 対象

堺市各ブロック(北、堺、中、西、東、南、美原)のポートボールチーム。回収:85チーム

## 3. アンケート調査内容

①チーム人数(2020年/4月、9月時点)、②コロナ禍でのチーム練習メニューについて

## 4. アンケート結果

### ①チーム人数

#### ■チーム数増減状況

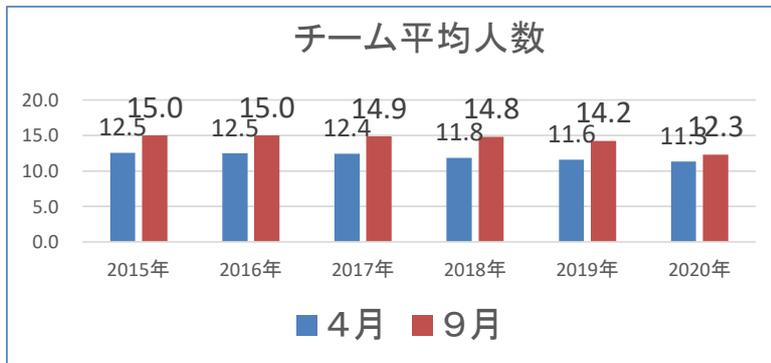
毎年、数チームが廃部、合併(合同)をしており、この6年間で12チーム減少しています。

(チーム別に回答頂いたが、合同、休部していたり、調査後の合併を入れればさらに実質 -4)

年度	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
チーム数	101	99	94	92	90	89

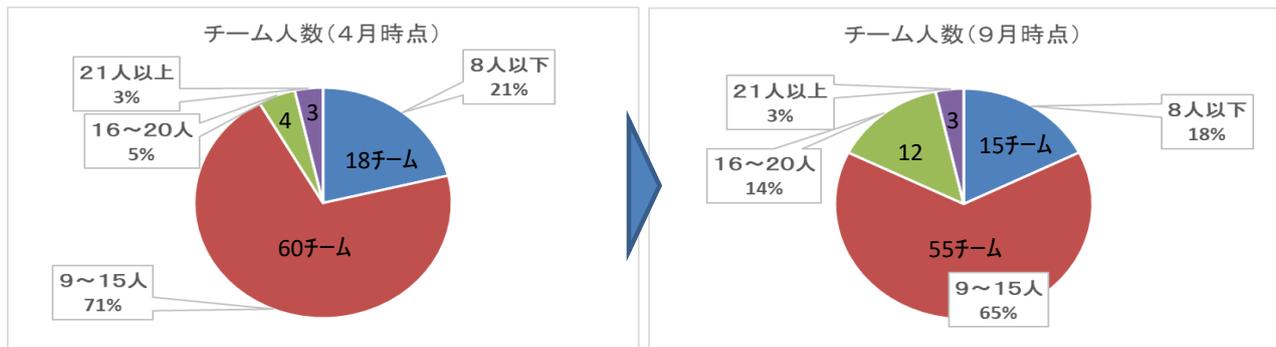
#### ■平均人数

4月から9月で、平均11.5人⇒12.3人。コロナの影響と思われるが、各チーム部員集めに苦労され、9月時点のチーム平均人数は例年に比べて極端に減りました。



#### ■チーム人数の割合

9月時点でのチーム人数は、9～15人のチームが55チームと一番多く、全85チームの65%を占めます。9人に満たないチームは15チーム。最多は32人(福田)でした。



## ②「コロナ禍でのチーム練習内容」について

活動再開直後の時点(夏場)での練習メニューであり、交流試合などは禁止される中、様子を見ながら接触を避けた基礎練習をメインに行っているチームがほとんど。

その他、こまめな消毒／換気、ソーシャルディスタンスの確保、ボールを含めた器具・道具類の共用利用の極力禁止などのコロナ対策は各チームで実施されていた。

練習メニュー
ベアでしていたストレッチや筋トレをやめて、ヨガを取り入れ、ストレッチと体幹を鍛えるメニュー
基本的には接触プレーのある練習を避けています。 ドリブル、3角パス、シュート練習を主に行っています。 1～3年生はドッチボールの練習も取り入れて、ドッジのチーム内での試合や中あてを行い接触しないように工夫しています。
ほぼフットワーク。距離をとったパス練習等 なるべく接触プレーは控えてドリブル、シュート練習をしています。 コート内の人数を減らして4対4でフォーメーションの確認など。
ドリブル鬼(交流戦ができないので少しでも闘争心を燃やす環境を作る) 対面パス(トラベリングを意識し、基本を体に覚えさせる) 四角パス(試合のスピード感を忘れないようにするため、正確かつ丁寧なパスを常に出せるようにする)
接触を避けるために、基本的なスキルアップをメインに行っています。(ドリブル、シュート、パス)
ソーシャルディスタンスを保つことのできる練習メニュー(体幹トレーニング、基礎練習)中心
ドリブルなど一人でできること中心
ドリブル、パス、シュートなど基礎練習が中心
基礎練習が中心。ラダートレーニングを追加。
個人のレベルを上げるため、ドリブルなどの基礎練習を多く行っている
主に基礎体力作り、各自ドリブル、ハンドリングを中心に練習
ドリブル、パス、シュートなどできることを練習
個人単位の単調なメニューが多くなるので、どちらかといえばオフェンス側を多めに入れ(ドリブルとかボールを使う)、ディフェンスメニューは最小限にする(楽しさをあまり感じないから)
ドリブル練習、2メン、3メン、シューティング等の基本中心
ピンゴ。3か所にボールを入れる(バケツを3つおいて入れるなど)
シュート、ドリブルシュートなど個人スキルをあげる練習をし、ディフェンスなしのオフェンスの型の練習を主にしています。
ラダートレーニング、
ボールタッチ&コントロール、ドリブル(その場&移動)、二人パス(その場&移動)、フリースロー、ドリブル+シュート、二人パス+シュート、ピボット、1対1ピボット、ボックス(4角)パス
体力維持を目的とした基礎練習。ハンドリング、ドリブルリレー、ドリブル鬼ごっこ、パスラン、シュート練習など
三角パス、四角パスを応用してのシュート練習。パスラン
ほとんど基本練習。ランニング、ストレッチ、アップ。
ランニングは、高学年と低学年を分けて1列で前後の間隔をあけて走る。 ウォーミングアップは、高学年、低学年を分けてコート全体を使い、横一列で間隔をあけている。 整列、体幹をするときは、横にジグザグになるように並んでいる。 ドリブル練習では、コート全体を使ってコーンをディフェンスにみたててジグザグドリブル、コーンの前でフロントチェンジなど ディフェンスを抜く練習 シュート練習もコーンをディフェンスにみたてて抜いてからのシュート練習
ジョグは1列で間隔をあけて掛け声なしで走る。8月までは接触が少ないメニュー。9月からは試合形式も少しづつ緩和。
集団でのランニングからスペースを空けてのダッシュに変更
ハンドリング。基礎的なドリブル練習。ドリブルシュート練習。対面パス。ディフェンス軽くついて1対1
準備体操は、2人1組でしていたものを1人へ変更
コーンを設置してのコーンドリブル、ドリブルシュートなど。
ハンドリング。ドリブル練習(飽きてきたら、ドリブルリレー・鬼ごっこをする)。パス練習(飽きてきたら、遠投競技をする)。個人技練習(フロントチェンジ、ロール等)